



ニュースレター限定 社長コラム

『知って終わるか、試して変わるか』

代表取締役 近藤 千奈美

日頃、皆さんはどこから情報を得て、どう活用していますか。

私は気になる本や YouTube、ビジネス記事、ネット新聞から情報を集め、紹介されている内容で自分にもできそうなことは、一度試してみます。気に入った本は購入し、チェックリストのようにして使います。

効果があれば、そのまま仕事のやり方や生活に取り込み、習慣として定着させます。合わなければ、あれこれ手を加えず、そのままやめることが多いです。この繰り返しで、仕事の仕方は何度も更新されてきました。

自分ひとりの知識には限界があります。だからこそ、他の方の方法や結果を知り、試したり避けたりできる今の時代はありがたいものです。ただし、知っているだけでは使えません。自分の課題と照らし合わせ、試し、効果を確認する。その工程があって、情報は初めて力になります。

個人はもちろん、会社も「今よりも良くしたい」と思っています。それなら、「知っている」ことからもう一步踏み出し、実際にやってみることまでをセットにしていくことが大切だと思うのです。

良い情報を「知る」で止めていますか。それとも、試してみて、変化へ繋げていますか。

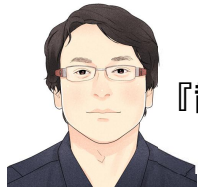


技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

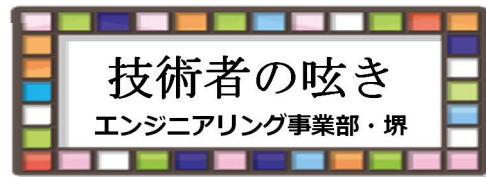
株式会社コンテックス



Phone : 042-744-1080
e-mail : tsd@kontecs.com
URL : <https://www.kontecs.com>



『散歩：骨董市』



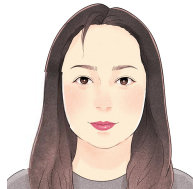
今日の駅前には、多くの人でにぎわっていました。今回は骨董市が開催されているようです。全国各地から約 300 店舗が出店しているそうで、なんと毎月開催されているとのこと。

会場をチラチラと見ながら歩いていると、ポスターに「テレビ東京『出張！なんでも鑑定団』お宝募集」の文字を発見しました。まさか、ここに「なんでも鑑定団」が来るとは思わず、ちょっとびっくり。

先月は阿波踊り、今月は骨董市。こうしてみると、この街は毎月のようにイベントが開催されていて、にぎやかな街だなと感じました。



『ハイエースの沼』



犬と旅行する我が家に、車中泊仕様にしたハイエースがやってきました。走ったらまるでアトラクションに乗っているような乗り心地。あまりの振動に犬がベッドにしがみついている笑

これはいけない。と、足回りの改善費用が数十万。中で快適に寝るためにフィルムやバッテリー、網戸だマットだ、と数十万。最初に付けとけば！と思うこともあったけど、乗ったからこそこういうのが欲しい！となるわけで…まだまだやりたいことがあります笑
ハイエースの沼にどっぷり浸かっております。



ニュースレター限定 営業マンのコラム

『よし、AI に相談だ！』

グローバルビジネス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



皆さんは AI をご利用でしょうか？私は恐る恐る使っています。(笑)

自分で調査するとかかなりの時間を要するものが、数秒で出てくるのは凄いですよね。とても便利で助かります。

英語メールの文面を添削してもらったりしていますが、とても格調高いビジネスメールに添削されると、ドギマギしてしまいます。内容を見て、自分のボキャブラリーにない言葉を使っている時は、敢えて稚拙な表現に戻したりして・・・(笑)

AI を使うと、実際の自分よりも優秀なイメージを与えてしまう危険があるので、ここには注意をしています。実際にお会いした際に、ペラペラと思って話しかけたら片言だったとなると、ガッカリされることもありますから、要注意です。(笑)

もう一つ、日本語で文章を作るときは、必ず自分で考えて書く、と決めています。資料から提案書を作るときは AI に任せてもよいかもしれませんが、必ず自分の言葉にするように努めています。何もかも丸投げすると、主体がなくなってしまい、自己の存在が曖昧になってしまうのを恐れて・・・。

AI に「おなかがすいたけど、何食べようか？」とか訊くようになったら、これはヤバイでしょう。自分の考えを持つことと AI に相談すること、このバランスがこれから重要になっていくのかと思います。



教えて！

翻訳 Q&A



Q: shoulder、weather など、名詞のイメージが強いが、動詞としても使える英単語を学びたいです。

A. 馴染みのある英語でも動詞の用法があることを意外と知らない単語を集めてみましたので以下に紹介していきます。

shoulder 動詞で「担ぐ・負担する」ことをいい、物理的な物のみならず、“shoulder the responsibility（責任を負う）”のように比喩的に用いられることも多いです。肩に物を乗せるようなイメージが想像できますね。

weather 「苦難を乗り越える・逆境を乗り越える」という意味で、“weather the storm（嵐を乗り越える＝困難を克服する）”という慣用句はビジネスや経済の文脈でも登場します。

stomach 「耐える、我慢する」という意味があります。直前に cannot や hard to を置いて否定形で用いられることが多く、その場合「耐え難い、受け入れがたい」という強い拒絶感を伴うニュアンスになり、ニュース記事でもよく見られます。

bar 「棒状の物・酒場」を表す名詞ですが、「禁止する・制限する」という動詞の意味も持ちます。棒状の門（かんぬき）で扉を閉ざすイメージから生まれた表現という説があり、Such claim shall be forever barred.（当該請求権は永久に失効するものとする。）というように、法務関連文書でも使用されます。

shouldered、barred など文中で過去形として現れると、知らない単語を見たような感覚になりますね。

知っている英語でも見返すと面白い発見があるかもしれません。



コンテックス HP
下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索！



HP にバックナンバーが
掲載されています♪